

寺報

No.641

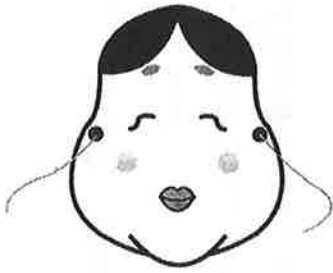
令和3年1月

蓮華寺
行

御聖訓

春の初めの御悦び、木に花のさ
くがごとく、山に草の生い出るが
ごとしと我も人も悦び入って候。

『春初御消息』



(解説)

元旦に手を合わせ、「今年も良い年でありますように」と願う人は多いと思われれます。

それは、今日から始まる一年間に夢と希望をふくらませるからです。

日蓮大聖人は「季節が春となり、木には花が咲き、野には草が芽を出してきました。

今まで暗く沈んでいた山々も、日に照らされ明るくよみがえってきました。

私は温かな心もちになり嬉しく思いますが、周りのみんなも大変悦んでいます。」といわれました。

我々は、この四季がめぐる国に生まれてきた事に感謝しなければなりません。

ですから、我々も過ぎ去った事にいつまでも悩む事なく、新たな気持ちを持ち、本来の自分を取り戻していかなければなりません。

どうか、今年もまた法華経・お題目を心の支えとして、一生懸命精進していきましょう。

檀信徒の皆様、一年間よろしくお願ひします。

新年のご挨拶

廣布山 蓮華寺

新年明けましておめでとうございます。
 今年も『廣布山蓮華寺』をよろしくお願い致します。
 また皆様の無事平穏も、心よりお祈り致します。
 昨年はコロナコロナで一年が終わってしまったといえるでしょう。
 皆様もその感染拡大の予防の為に、一年間大変だったと思います。
 同じように鎌倉時代の日蓮大聖人も大地震・台風・猛暑などの自然災害により、飢饉また疫病による餓死者が後を絶たないという現状を目の当たりにしたのでした。
 特に大地震が頻繁に起り、また疫病としては赤痢・天然痘などの感染症が人々を苦しめていたとの記録が残されています。
 この時期を人々は、末法の世の到来と恐れ、不安に悩まされていました。

そして、その民衆を救おうとする僧侶が数多く現れ、日蓮宗・浄土宗・浄土真宗・禅宗などの各宗派が生まれたのでした。

各宗が、この大変な世の中を諦め素晴らしい浄土に生まれ変わらましようとする説くのに対して、日蓮大聖人はたとえ、この大変な世の中であつても、決して諦めてはいけないと主張し、法華經の教えの元、今住んでいるこの場所こそを浄土としていかなければならないと教えられたのです。

その為に、我々に『南無妙法蓮華經』のお題目を心の支えとしてしっかりと唱え、苦しい時を乗り越えようと力説したのでした。

どうか皆様もこの教えの元、法華經・お題目を心の支えとして、この災難にも負ける事なく、安心して毎日を生き抜いて欲しいと思います。

そして今年も無事に暮らせますようにと願い、より一層の信仰をしていこうではありませんか。
 お互いに頑張っていきましょう。

大切なお題目受持

唱題行（寒修行）に

参拝しましょう！

日蓮大聖人は「過去の因を知らんと欲せば、その現在の果を見よ、未来の果を知らんと欲せば、その現在の因を見よ。」と教えています。

つまり、現在の我々の苦の原因となつています過去の重罪を、何とかして今の世で消滅しなければ、未来もこの苦から決して免れる事は出来ないという事です。
 現代人は、何でも自分の思うようにならないと、その責任を社会や他人のせいにしてしましますが、本当の原因は自分自身にあるのです。

したがって、これを今の代の自分が自ら断ち切り、そして懺悔（反省）し、次まで絶対持ち越さないようにしていかなければならないのです。

大聖人は、それには『南無妙法蓮華經』のお題目を唱えるしか解決方法はないといたしました。
 どうか皆様も、是非この教えを元に、お寺で一心に唱題行をしましょう。

また、仏様や先祖の供養の為、そして各家の家人安全や家族の身体健全を祈る事も大事でしょう。

一月五日(火)～二月一日(月)迄二十八日間

午後七時より一時間(小本堂)

次第

- 礼拝 文「謹みて礼拝し奉る」 [4ページ]
- 開經 偈「無上甚深微妙の」 [6ページ]
- 讀經 經「如来寿量品第十六」 [13ページ]
- 懺悔 文「夫れ懺悔は治病の」 [47ページ]
- 御妙判 祈 禱 鈔 [67ページ]
- 御題目 「南無妙法蓮華經」 [72ページ]
- 宝塔 偈「此經難持の」 [72ページ]
- 回向 文「導師が唱えます」 [76ページ]
- 四誓願 「誓つて南無妙法」 [76ページ]
- 三整唱 「なむめう」 [77ページ]
- 弾指合掌 (祈りを込めます)

②なお「寒修行」ですので、暖房は致しませんので、各自防寒の用意をして来て下さい。

全員イス席での修行となります。

※マスクを着用して下さい。

持参品・聖典・数珠・団扇太鼓(所有の者)

みんなで参拝しましょう

節分会のお知らせ

二月二日(火)

午後六時開始

男性大厄

数え二十五歳	平成九年生れ
数え四十二歳	昭和五十五年生れ

女性大厄

数え十 九歳	平成十五年生れ
数え三十三歳	平成元年・(昭和六十四年)生れ

大正十四年生れ

年男・年女
(五年)

昭和十二年・二十四年・三十六年 四十八年・六十年生れ
平成九年・二十一年・令和三年生れ

その他

・前厄・後厄(厄年の前後)

- ・還暦(六十一歳)・古稀(七十歳)
 - ・喜寿(七十七歳)・傘寿(八十歳)
 - ・米寿(八十八歳)・卒寿(九十歳)
 - ・白寿(九十九歳)
- いずれも数え年です。

・今年ご祈祷希望者はどなたでも受けられます。

★厄払い・三 千 円

- ◎豆まき◎祈願読上げ
- ◎ご祈祷◎厄札◎絵馬
- ◎福豆のお土産等

◎本人が来られない場合は、代理の方か、または帯・ベルト・肌着等、身に着ける物をご持参下さい。

★一般祈願・千 円 (◎節分札◎祈願読上げ)

追膳は元日より八日まで お休みです

お正月は位牌堂・永代供養堂に上げます『追膳』がお休みとなりますので、各自『お供え餅』を上げるかまたお寺に注文し上げてもらって下さい。(五百円)
(注)お餅は数に限りがありますので、お早めに!

檀信徒研修会は三月まで お休みです

どうか檀信徒の皆様は、一月五日より二月一日までの『寒修行』に是非参加して下さい。

『提灯』の募集

「お正月」などで下げます『提灯』を募集します。作成価格は八千円、年間の管理費が二千円です。

各『会費』納入のお願い

檀信徒の皆様で、令和二年度の『護持会費』『位牌堂管理費』『トロー代(提灯)』『聖徒団会費』等の納入がまだされていない方は、どうかご協力をお願い致します。

この中で『護持会費』は、全檀家の皆様に「日蓮宗々門」と宗教法人「蓮華寺」の護持運営の為にお願いしています。

また『位牌堂管理費』は位牌堂の電気・掃除等のメンテナンス代、『トロー代』は大行事の際に下げます提灯の電気・修理費等、『聖徒団会費』は月初めの家内安全の祈願料と聖徒団の運営費として、いずれも加名者の方のみをお願いしています。

なお令和三年度分も、よろしくお願い致します。

(注)昭和二年に完成し、昭和二十年の青森大空襲にも耐えてきました蓮華寺『大本堂』、現在青森で一番古い建物となりました。

どうか、皆様のお力で守り続けていきましょ。

『位牌壇』募集!

◎位牌壇がありますと、毎朝必ずお題目が唱えられますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎特に青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので、位牌壇がありますと、常にお寺に参拝出来ます。

◎現在空いています位牌壇に上りたい方には、数がある限り無料でお譲りしています。

『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂のお花、【聖徒タイムズ】・寺報等の援助などに活用しています。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

『霊断』

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『霊断』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。なお、宗旨宗派は問いません。

(注)必ずご予約下さい。

☎776-5840

伝道部からの御礼とお願い

部長 小野 正春

昨年度も檀信徒の皆様への修行としまして、一月六日～二月二日までの二十八日間の『寒修行』、四月～十一月までの月一回の『檀信徒研修会（お経と唱題行）』は、たくさんの方が参加され、無事成功の内に終える事が出来ました。

その他伝道部では、「図書・カセットテープ・CD・DVD」等の貸出もしていますので、どうぞご利用下さい。

どうか、今年も皆様のご協力をよろしくお願い致します。

奉仕部からの御礼とお願い

部長 山田 兼補

昨年度は「年中行事」の他、春と秋のお彼岸また夏のお盆の「追膳」のお手伝い、更に「御会式の花作り」等の奉仕活動がありました。が、教宣部員と一般檀信徒の皆様のご協力により、無事終了する事が出来ました。

今後、教宣部員以外の檀信徒の皆様でも、菩提寺【蓮華寺】の為に協力戴ける方は、ご遠慮せずにお手伝いをよろしくお願い致します。

どうか今年も頑張つて奉仕活動をしましょう。

教宣部からの御礼とお願い

部長 杉淵 昌三

皆様もご存知のように、お寺の行事は様々のお手伝いがあり、沢山の方々のご協力が必要です。

『教宣部』は、まず『奉仕部』より依頼がありますとお寺の行事を中心に奉仕活動をします。

その他、例年行われていました部員の長年に渡る功労を祝す【喜寿を祝う会】、また部員同士の親睦を図る【交流会】はコロナウイルス感染拡張の為残念ながら中止させて頂きました。

来年は何とか開催したいと思えます。

どうか檀信徒の皆様の中で、菩提寺の為・先祖の為・自分自身のご信仰の為に活動したい方は、迷わず『教宣部』に入部して下さい。

教宣部員募集中！

☆奉仕のお知らせ

令和二年十二月

三十一日(木) 元旦祝祷会のお手伝い 午後十時より

【教宣部・男女共沢山】

*新しい年に向けての奉仕活動、ご参拝を兼ねながらよろしくお願い致します。

令和三年一月

三日(日) 元旦祝祷会の後片付け 午前十時より

【教宣部・男女共沢山】

*ちようちんや幕・幟などの後片付けです。

令和三年二月

三日(火) 節分会のお手伝い 午後三時より

【男女共沢山】

◎奉仕部長・山田兼補 ◎教宣部長・杉淵昌三
◎伝道部長・小野正春

(注)部員以外でお手伝いの出来る方も、当日時間までお集まり下さい。

十月の行事

一日(金) 元旦祝祷会 午前0時より

・年の始め、自ら進んでお勤めに参加しましょう。

・お経は、聖典(お経本)を最初から順にゆつくり読みますので、皆様も一緒に唱えましょう。

・お正月の法要は、この一回のみです。

①一月分の『盛運祈願会』は元旦には行いません。

十三日(水) 日蓮大聖人の御命日 午後一時より

・お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)

・如来寿量品第十六(真読・漢字読み)

・皆様も、大聖人様への御報恩を忘れずに参拝し、お経とお題目と一緒に唱えましょう。

②『十三日のお勤め』のお経練習用の(CD・お経本)は事務所にてお求め下さい。

十六日(土) 甲子【大黒様の日】 朝のお勤め中

寒修行(唱題行)

一月五日(火)～二月一日(月)【二十八日間】

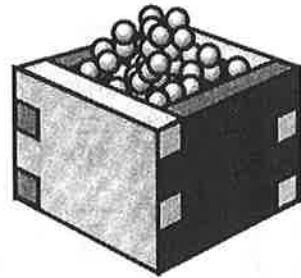
午後七時～午後八時迄 於：小本堂

せつ ぶん え 節 分 会

二月二日(火)

午後六時より

(注)旧暦の計算上の誤差により、明治三十年以来124年ぶりに
二月二日になります。



(厄払い・豆まき・法楽加持・祈願あり)

* 厄払いと一般の祈願は一月十日より受け付けます。

⑨ 豆まきを行いますのは、年男としおとこ・年女としおんな (丑年うし)・厄年やくどし・その他
本年度ご祈祷希望者の方となります。

⑩ マスク着用でお願いします。